別記様式４

【記載例】

化学肥料低減計画書

（令和５年秋用肥料）

提出先：

※次の取組実施者へも提出しています。

|  |
| --- |
|  |
| 作付概要 |
| 作物名 | 作付面積（ha） |
|  |  |
|  |  |  | 氏名（法人・組織名）　*このスペースには、取組実施者の判断で、本計画書の処理のために必要な文字等を記載することに使用できます。**※　参加農業者へ配布時は、この枠を削除してください。* |
| その他 |  |  | 住所 |
|  |  |  | 電話番号 |

|  |
| --- |
| １．実施する（してきた）取組メニューに「○」を付してください。２．「タ」の取組を除き「令和４年度又は令和５年度（令和５年度又は令和６年度※１）の取組」には、実施する取組メニューが２つ以上必要です。　　そのうち１つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大（「◎」で記入）を含むようにしてください。３．令和４年秋用肥料又は令和５年春用肥料において計画を作成している場合は、その内容を記入してください。※１　初めて計画を作成する場合は、「令和５年度又は令和６年度の取組」としてください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組メニュー | 前年度までの取組 | 令和４年度又は令和５年度の取組（令和５年度又は令和６年度の取組） |
| 取組 | 備考（強化・拡大の具体的な内容） |
| ア　土壌診断による施肥設計 |  |  |  |
| イ　生育診断による施肥設計 |  |  |  |
| ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入 |  |  |  |
| エ　堆肥の利用 |  |  |  |
| オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等） |  |  |  |
| カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外） |  |  |  |
| キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む。）の利用 |  |  |  |
| ク　緑肥作物の利用 |  |  |  |
| ケ　肥料施用量の少ない品種の利用 |  |  |  |
| コ　低成分肥料（単肥配合を含む。）の利用 |  |  |  |
| サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等を含む。） |  |  |  |
| シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用 |  |  |  |
| ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用 |  |  |  |
| セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。） |  |  |  |
| ソ　地域特認技術の利用（　　　　　　　　　　　　　　　） |  |  |  |
| タ　化学肥料の低減に相当程度の実績がある農業者（ア～ソのうち、該当する取組：　 　　） |  |  | ― |

（注）令和５年６月～10月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）又は、参加農業者の支払い義務が確認できる書類（請求書等）を添付すること。

なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

また、注文によらず購入した（ホームセンターでの購入等）肥料の根拠資料（レシート等）を提出する際は、当用買いした肥料を一覧に取りまとめて提出すること。

私は記載の誓約事項を確認し、内容について確約します。

　（※以下、不要の場合は削除する。）

　また、支援金の交付に際し、取組実施者が交付額から振込手数料を控除する

ことを承諾します。

誓約事項

|  |  |
| --- | --- |
| □ | １．添付した領収書等に記載の肥料は令和５年秋用肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。 |
| □ | ２．本計画書、実績報告書及びその他の提出書類について、必要に応じて関係機関で共有することを承諾します。 |
| □ | ３．本事業に係る報告や立入り調査について、実施主体等から協力を求められた場合は応じます。 |
| □ | ４．取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から５年間保管し、実施主体等から求められた場合は提出します。 |
| □ | ５．以下の場合には支援金を返還すること、又は、交付されないことについて異存ありません。ア　本計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合イ　正当な理由がなく、本計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合 |

氏名（自署）

※法人の場合は、代表者の氏名